

Ⅱ 10代の健康に関する市民意識調査

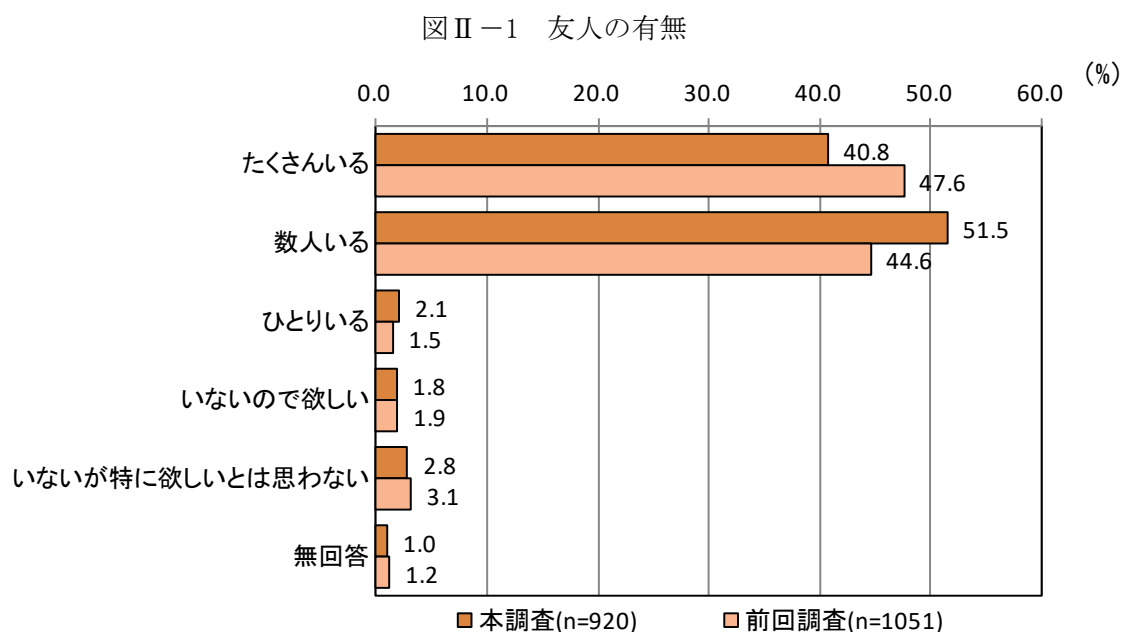
「10代の健康に関する市民意識調査」の集計結果は以下のとおりとなっている。また、本調査において、前回調査（平成29年「10代の健康に関する市民意識調査」）、前々回調査（平成24年「思春期の健康に関する市民意識調査」）と比較可能な項目については、前回調査、前々回調査の調査結果と比較している。

1 友人について

（1）友人の有無

友人の有無について聞いたところ、「数人いる」が51.5%と最も高く、次いで「たくさんいる」が40.8%などとなっている。

前回調査と比べると、「数人いる」が6.9ポイント増加しており、前回調査で最も多かった「たくさんいる」を上回る結果となった。



性別では、「数人いる」と回答した人の割合は、男性で47.4%、女性で55.4%となっており、女性の方が8.0ポイント高く、「たくさんいる」と回答した人の割合は、男性で45.0%、女性で37.4%となっており、男性の方が7.6ポイント高くなっている。

表Ⅱ-2 友人の有無（性別）

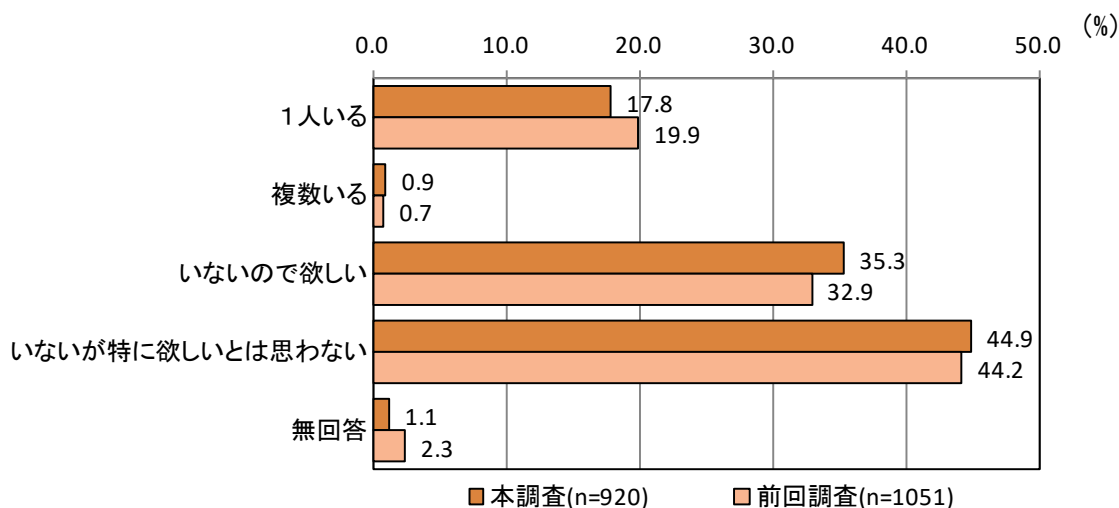
		調査数	友人の有無					無回答
			たくさんいる	数人いる	ひとりいる	いないので欲しい	はいないが特に欲しいと	
全体		920 100.0	375 40.8	474 51.5	19 2.1	17 1.8	26 2.8	9 1.0
性別	男性	411 100.0	185 45.0	195 47.4	5 1.2	6 1.5	16 3.9	4 1.0
	女性	500 100.0	187 37.4	277 55.4	13 2.6	10 2.0	9 1.8	4 0.8
	無回答	9 100.0	3 33.3	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1

(2) 恋人の有無

恋人の有無について聞いたところ、「いないが特に欲しいとは思わない」が44.9%と最も高く、次いで「いないので欲しい」が35.3%、「1人いる」が17.8%などとなっている。

前回調査と比べると、「いないが特に欲しいとは思わない」が0.7ポイント微増しており、次いで「いないので欲しい」が2.4ポイント増加している。《いない》が増加し、《いる》が減少している。

図Ⅱ-3 恋人の有無



性別でみると、恋人の「いる」の割合は、女性の方がやや高くなっている。

表Ⅱ-4 恋人の有無（性別）

		調査数	恋人の有無				
			1人いる	複数いる	いないので欲しい	はいないが特に欲しいと思わない	無回答
全体		920 100.0	164 17.8	8 0.9	325 35.3	413 44.9	10 1.1
性別	男性	411 100.0	66 16.1	3 0.7	158 38.4	179 43.6	5 1.2
	女性	500 100.0	97 19.4	3 0.6	164 32.8	232 46.4	4 0.8
	無回答	9 100.0	1 11.1	2 22.2	3 33.3	2 22.2	1 11.1

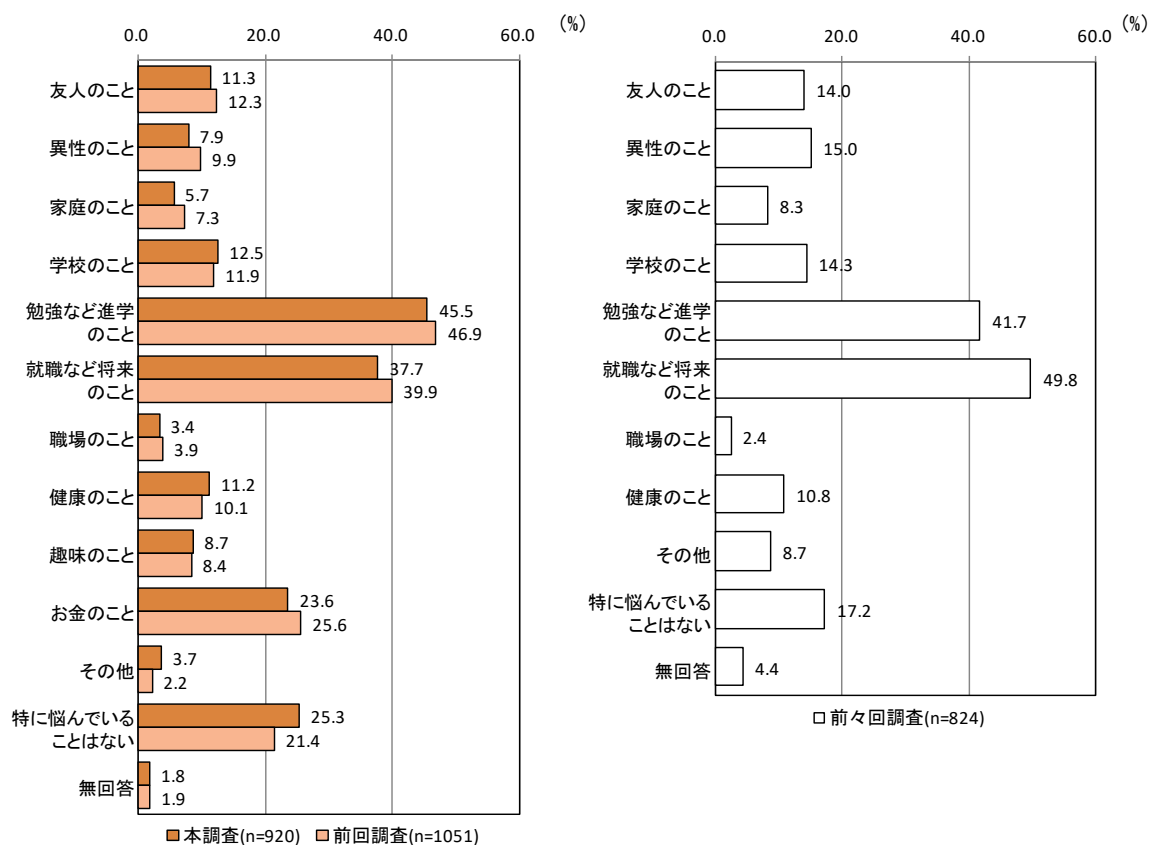
2 悩みについて

(1) 今悩んでいること

今悩んでいることについて聞いたところ、「勉強など進学のこと」が45.5%と最も高く、次いで「就職など将来のこと」が37.7%、「特に悩んでいることはない」が25.3%などとなっている。

前回調査と比べると、「勉強など進学のこと」は1.4ポイント低く、前々回調査と比べると3.8ポイント増加している。「就職など将来のこと」は前回調査より2.2ポイント低くなっており、前々回調査と比べると12.1ポイント減少しているものの、「勉強など進学のこと」、「就職など将来のこと」での悩みが、いずれの調査でも多い結果となった。

図Ⅱ-5 今悩んでいること



今悩んでいることについて性別でみると、悩みを持つ人の割合は女性の方が約10ポイント高くなっている。内容をみると、「勉強など進学のこと」、「就職など将来のこと」、「お金のこと」、「友人のこと」、「学校のこと」、「健康のこと」で女性の割合が高くなっている。

今悩んでいることについて年齢別でみると、16歳、17歳、18歳では「勉強など進学のこと」の割合が最も高く、それぞれ54.9%、56.2%、43.8%となっているが、19歳では「就職など将来のこと」の割合が最も高く48.8%となっている。「お金のこと」と回答した人の割合は、18歳、19歳で、16歳、17歳より約2倍の数値になっている。

表Ⅱ-6 今悩んでいること（性別、年齢別）

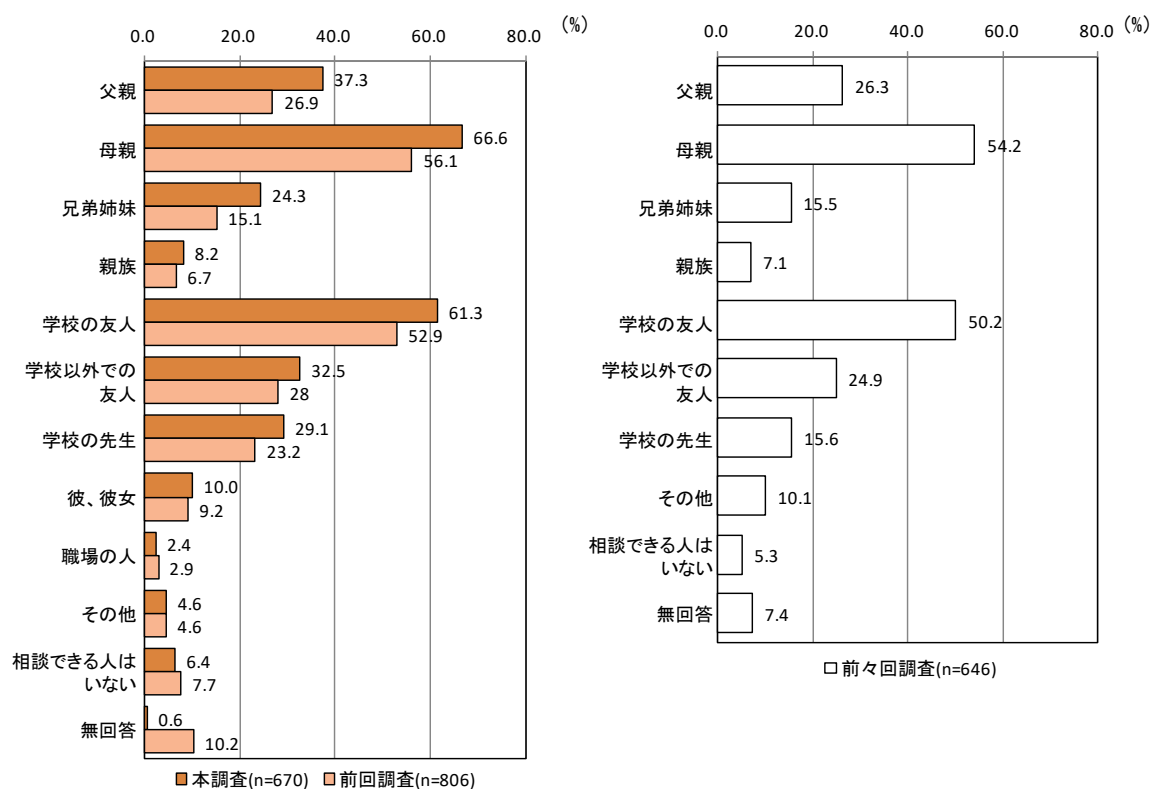
		今悩んでいること													
		上段:実数、下段:%													
調査数		友人のこと	異性のこと	家庭のこと	学校のこと	勉強など進学のこと	就職など将来のこと	職場のこと	健康のこと	趣味のこと	お金のこと	その他	特に悩んでいることは	無回答	
全体	920 100.0	104 11.3	73 7.9	52 5.7	115 12.5	419 45.5	347 37.7	31 3.4	103 11.2	80 8.7	217 23.6	34 3.7	233 25.3	17 1.8	
性別	男性	411 100.0	32 7.8	32 7.8	19 4.6	44 10.7	178 43.3	140 34.1	13 3.2	39 9.5	40 9.7	91 22.1	13 3.2	123 29.9	12 2.9
	女性	500 100.0	68 13.6	38 7.6	30 6.0	67 13.4	237 47.4	201 40.2	16 3.2	61 12.2	38 7.6	125 25.0	18 3.6	110 22.0	4 0.8
	無回答	9 100.0	4 44.4	3 33.3	3 33.3	4 44.4	4 44.4	6 66.7	2 22.2	3 33.3	2 22.2	1 11.1	3 33.3	-	1 11.1
年齢別	16歳	237 100.0	31 13.1	21 8.9	18 7.6	31 13.1	130 54.9	84 35.4	2 0.8	23 9.7	21 8.9	44 18.6	11 4.6	65 27.4	5 2.1
	17歳	258 100.0	30 11.6	16 6.2	10 3.9	25 9.7	145 56.2	87 33.7	4 1.6	29 11.2	22 8.5	40 15.5	9 3.5	66 25.6	3 1.2
	18歳	219 100.0	22 10.0	14 6.4	14 6.4	29 13.2	96 43.8	76 34.7	10 4.6	27 12.3	17 7.8	71 32.4	8 3.7	50 22.8	3 1.4
	19歳	205 100.0	21 10.2	22 10.7	10 4.9	30 14.6	48 23.4	100 48.8	15 7.3	24 11.7	20 9.8	62 30.2	6 2.9	52 25.4	5 2.4
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0

(2) 悩みの相談相手

今悩んでいることが1つでも《ある》と回答した670人の相談相手についてみると、「母親」が66.6%と最も高く、次いで「学校の友人」が61.3%、「父親」が37.3%などとなっている。

前回調査と比べると、「父親」、「母親」、「兄弟姉妹」に相談するとの回答は、それぞれ約10%増加しており、《家族》に相談する割合が増加傾向にある。また、前回調査と比べると、「学校の先生」は5.9ポイント高くなっており、前々回調査と比べると13.5ポイントと増加傾向にある。

図Ⅱ-7 悩みの相談相手



性別でみると、「父親」、「学校の先生」を相談相手とする割合は男性の方が高くなっているが、「母親」、「兄弟姉妹」、「学校以外での友人」、「彼、彼女」の割合は女性の方が高くなっている。

表Ⅱ－8 悩みの相談相手（性別）

		調査数	悩みの相談相手											
			父親	母親	兄弟姉妹	親族	学校の友人	学校以外での友人	学校の先生	彼、彼女	職場の人	その他	相談できる人はいない	無回答
全体		670	250	446	163	55	411	218	195	67	16	31	43	4
		100.0	37.3	66.6	24.3	8.2	61.3	32.5	29.1	10.0	2.4	4.6	6.4	0.6
性別	男性	276	115	165	58	20	167	77	87	22	7	10	24	2
		100.0	41.7	59.8	21.0	7.2	60.5	27.9	31.5	8.0	2.5	3.6	8.7	0.7
	女性	386	133	278	103	34	241	138	106	43	9	20	19	2
		100.0	34.5	72.0	26.7	8.8	62.4	35.8	27.5	11.1	2.3	5.2	4.9	0.5
	無回答	8	2	3	2	1	3	3	2	2	-	1	-	-
		100.0	25.0	37.5	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	25.0	-	12.5	-	-

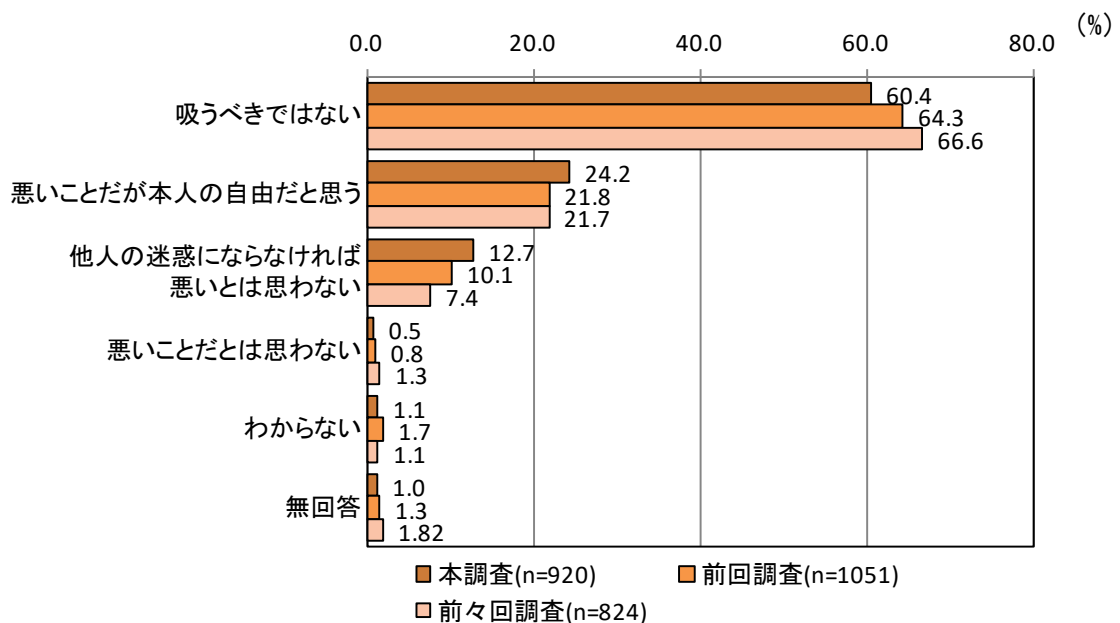
3 たばこについて

(1) 未成年が喫煙することに対する意識

未成年がたばこを吸うことについてどう思うか聞いたところ、「吸うべきではない」が60.4%と最も高く、次いで「悪いことだが本人の自由だと思う」が24.2%、「他人の迷惑にならなければ悪いとは思わない」が12.7%などとなっている。

前回調査と比べると「吸うべきではない」の割合は3.9ポイント減少し、前々回調査と比べると、6.2ポイント減少している。それに対し、「悪いことだが本人の自由だと思う」、「他人の迷惑にならなければ悪いとは思わない」の割合は増加傾向にあることから、未成年が喫煙することに対する意識は低下傾向にある。

図Ⅱ-9 未成年が喫煙することに対する意識



未成年がたばこを吸うことについて性別で見ると、「吸うべきではない」の割合は男性が60.1%、女性が60.8%と大きな差はみられない。

「悪いことだが本人の自由だと思う」の割合が男性21.2%、女性が26.8%と女性の割合が高くなっているが、「他人の迷惑にならなければ悪いとは思わない」の割合は男性16.1%、女性が10.2%と男性の割合が高くなっている。

未成年がたばこを吸うことについて年齢別で見ると、年齢が低くなるにしたがって「吸うべきではない」の割合が高くなっており、年齢が高くなるにしたがって「他人の迷惑にならなければ悪いとは思わない」の割合が高くなっている。

表Ⅱ-10 未成年が喫煙に対する意識（性別、年齢別）

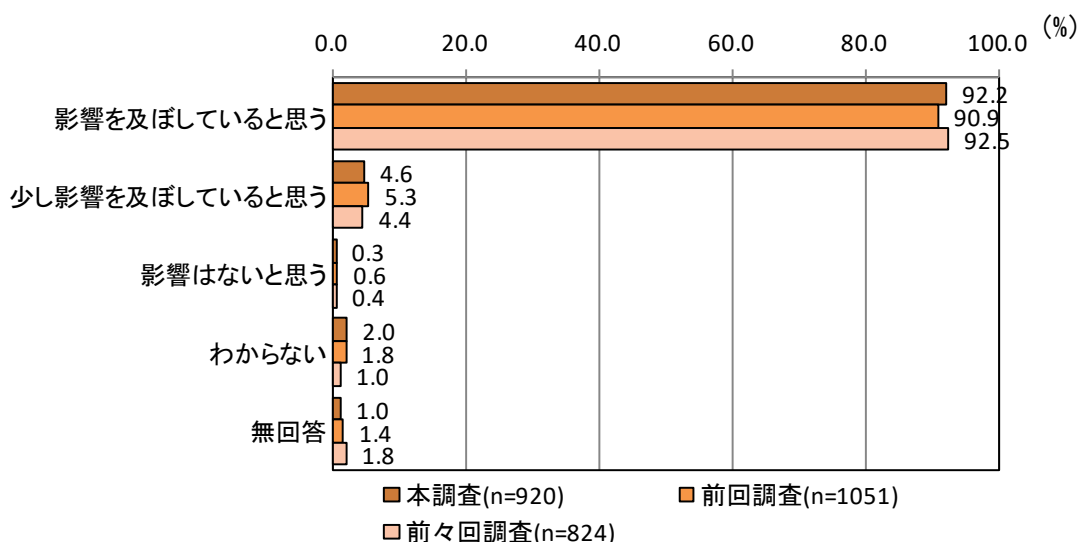
		調査数	未成年が喫煙することの意識					上段:実数、下段:%	
			吸うべきではない	悪いことだが本人の自由	他人の迷惑には思わない	悪いことだとは思わない	わからない	無回答	
全体		920 100.0	556 60.4	223 24.2	117 12.7	5 0.5	10 1.1	9 1.0	
性別	男性	411 100.0	247 60.1	87 21.2	66 16.1	2 0.5	4 1.0	5 1.2	
	女性	500 100.0	304 60.8	134 26.8	51 10.2	3 0.6	5 1.0	3 0.6	
	無回答	9 100.0	5 55.6	2 22.2	- -	- -	1 11.1	1 11.1	
年齢別	16歳	237 100.0	158 66.7	56 23.6	18 7.6	- -	3 1.3	2 0.8	
	17歳	258 100.0	161 62.4	59 22.9	32 12.4	1 0.4	2 0.8	3 1.2	
	18歳	219 100.0	133 60.7	50 22.8	30 13.7	2 0.9	2 0.9	2 0.9	
	19歳	205 100.0	104 50.7	58 28.3	37 18.0	2 1.0	3 1.5	1 0.5	
	無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	

(2) 喫煙が健康に及ぼす影響に関する認識

たばこが健康に影響を及ぼしていると思うかを聞いたところ、「影響を及ぼしていると思う」が92.2%、「少し影響を及ぼしていると思う」は4.6%、「影響はないと思う」は0.3%などとなっている。

前回調査、前々回調査と比べても、大きな差はみられない。

図Ⅱ-11 喫煙が健康に及ぼす影響に関する認識



性別でみると、「影響を及ぼしていると思う」が男性90.0%に対し、女性94.2%と4.2ポイント高くなっている。

表Ⅱ-12 喫煙が健康に及ぼす影響に関する認識 (性別)

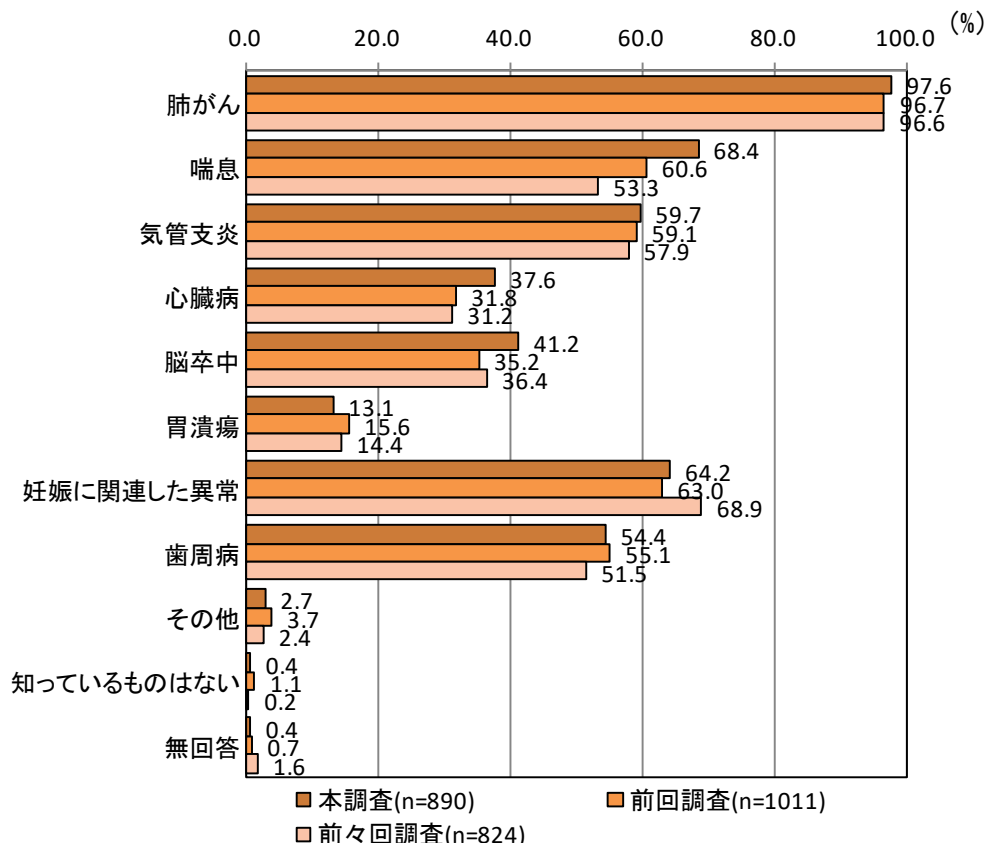
		調査数	喫煙が健康に及ぼす影響の認識				無回答
			影響を及ぼしていると思う	少し影響を及ぼしていると思う	影響はないと思う	わからない	
全体		920	848	42	3	18	9
		100.0	92.2	4.6	0.3	2.0	1.0
性別	男性	411	370	24	3	10	4
		100.0	90.0	5.8	0.7	2.4	1.0
	女性	500	471	17	-	8	4
	100.0	94.2	3.4	-	1.6	0.8	
	無回答	9	7	1	-	-	1
	100.0	77.8	11.1	-	-	11.1	

(3) 喫煙が関係している可能性が高い病気の認識

たばこが健康に影響を及ぼしていると回答した 890 人に、たばこが関係している可能性が高い病気について知っているものを聞いたところ、「肺がん」が 97.6%と最も高く、次いで「喘息」が 68.4%、「妊娠に関連した異常」が 64.2%などとなっている。

前回調査と比べると、「喘息」の割合は 7.8 ポイント増加し、前々回調査より 15.1 ポイント増加している。

図 II -13 喫煙が関係している可能性が高い病気の認識



性別で見ると、「妊娠に関連した異常」で女性の割合が12.1ポイント高くなっているが、「喘息」で5.3ポイント、「気管支炎」で3.2ポイント、「心臓病」で5.7ポイント、「脳卒中」で4.8ポイント、「胃潰瘍」で3.2ポイント男性が高くなっており、「妊娠に関連した異常」以外は男性の割合が高くなっている。

表Ⅱ-14 喫煙が関係している可能性が高い病気の認識（性別）

上段:実数、下段:%

	調査数	喫煙が関係している可能性が高い病気の認識											
		肺がん	喘息	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃潰瘍	妊娠に関連した異常	菌周病	その他	知っているものはない	無回答	
全体	890	869	609	531	335	367	117	571	484	24	4	4	
	100.0	97.6	68.4	59.7	37.6	41.2	13.1	64.2	54.4	2.7	0.4	0.4	
性別	男性	394	385	281	241	161	172	58	226	219	8	1	3
		100.0	97.7	71.3	61.2	40.9	43.7	14.7	57.4	55.6	2.0	0.3	0.8
	女性	488	477	322	283	172	190	56	339	260	14	2	1
	100.0	97.7	66.0	58.0	35.2	38.9	11.5	69.5	53.3	2.9	0.4	0.2	
	8	7	6	7	2	5	3	6	5	2	1	-	
	100.0	87.5	75.0	87.5	25.0	62.5	37.5	75.0	62.5	25.0	12.5	-	

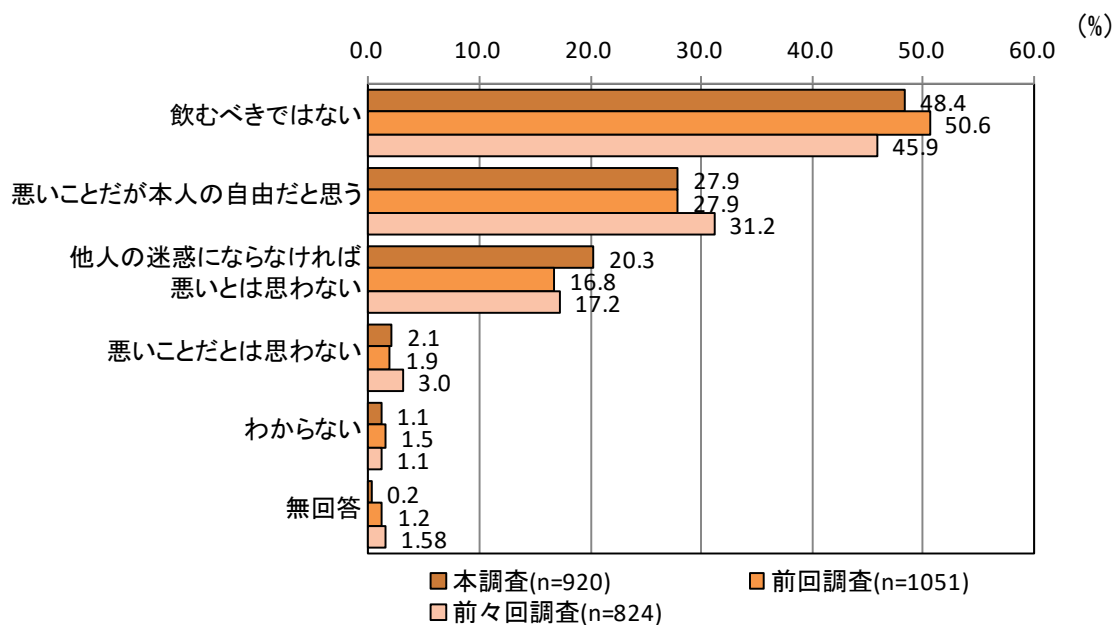
4 お酒について

(1) 未成年が飲酒することに対する意識

未成年がお酒を飲むことについてどう思うかを聞いたところ、「飲むべきではない」が48.4%と最も高く、ついで「悪いことだが本人の自由だと思う」が27.9%となっている。「悪いことだが本人の自由だと思う」(27.9%)、「他人の迷惑にならなければ悪いとは思わない」(20.3%)、「悪いことだとは思わない」(2.1%)を合わせた未成年の飲酒を容認する層は50.3%などとなっている。

前回調査と比べると、「飲むべきではない」の割合が2.2ポイント低くなっているが、前々回調査と比べると2.5ポイント高くなっている。また、未成年の飲酒を容認する層は前回調査と比べると3.7ポイント高くなっており、前々回調査と比べると1.1ポイント低くなっている。

図Ⅱ-15 未成年が飲酒することに対する意識



未成年がお酒を飲むことについて性別でみると、「飲むべきではない」の割合は男性が47.9%、女性が48.6%と男女の差はほとんどなく、「悪いことだが本人の自由だと思う」、「他人の迷惑にならなければ悪いと思わない」を合わせた未成年の飲酒を許容する層の割合でも男女差はほとんどない。

未成年がお酒を飲むことについて年齢別でみると、年齢が高くなるにしたがって「飲むべきではない」の割合が低くなっている。年齢が高くなるにしたがって「他人の迷惑にならなければ悪いとは思わない」の割合が高くなっている。

表Ⅱ-16 未成年が飲酒することに対する意識（性別、年齢別）

		調査数	未成年が飲酒することに対する意識					無回答
			飲むべきではない	悪いことと思うが本人の自由	他人の迷惑には思わない	悪いこととは思わない	わからない	
全体		920	445	257	187	19	10	2
		100.0	48.4	27.9	20.3	2.1	1.1	0.2
性別	男性	411	197	104	93	11	5	1
		100.0	47.9	25.3	22.6	2.7	1.2	0.2
	女性	500	243	151	94	7	5	-
		100.0	48.6	30.2	18.8	1.4	1.0	-
	無回答	9	5	2	-	1	-	1
		100.0	55.6	22.2	-	11.1	-	11.1
年齢別	16歳	237	134	66	31	2	3	1
		100.0	56.5	27.8	13.1	0.8	1.3	0.4
	17歳	258	135	70	45	7	1	-
		100.0	52.3	27.1	17.4	2.7	0.4	-
	18歳	219	105	58	48	5	3	-
	100.0	47.9	26.5	21.9	2.3	1.4	-	
	19歳	205	71	63	63	5	3	-
		100.0	34.6	30.7	30.7	2.4	1.5	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	1
		100.0	-	-	-	-	-	100.0

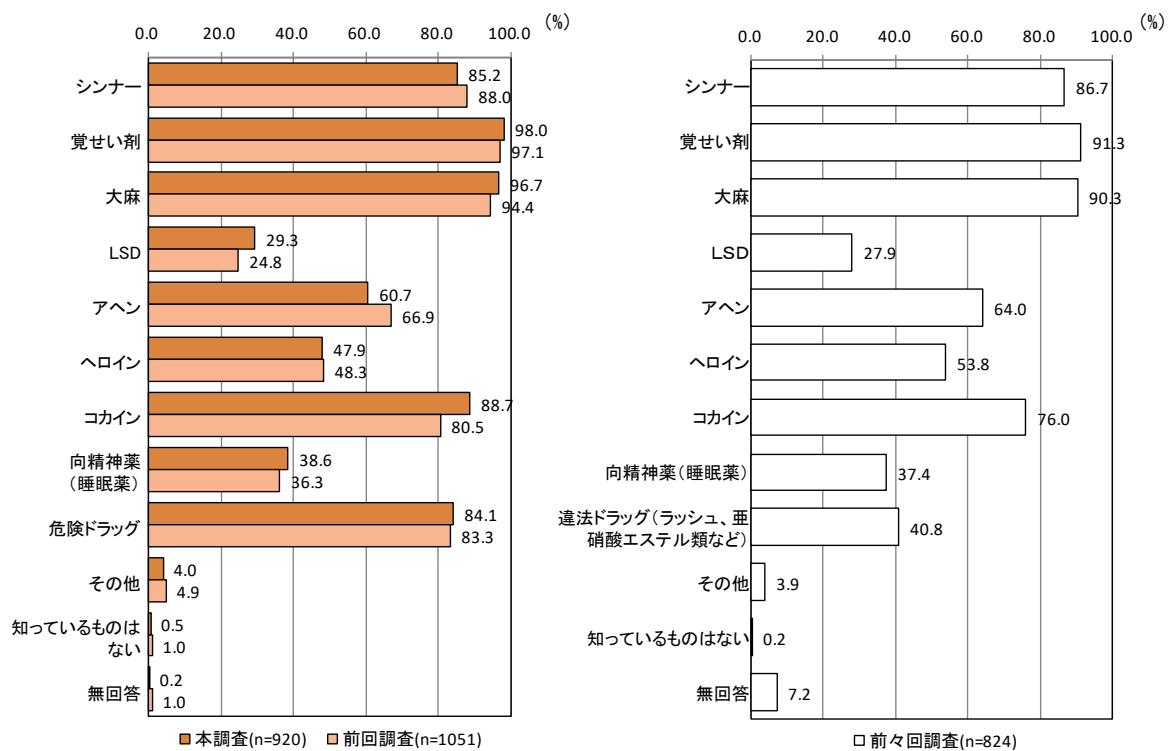
5 薬物乱用について

(1) 薬物についての認知度

乱用が社会的な問題になっている薬物について知っているものを聞いたところ、「覚せい剤」が98.0%と最も高く、次いで「大麻」が96.7%、「コカイン」が88.7%などとなっている。

前回調査と比べると、「コカイン」が8.2ポイント増加しており、前々回調査と比べると12.7ポイント増加している。前回調査、前々回調査と比べると「覚せい剤」、「大麻」の認知度はどちらも90%以上と高くなっている。

図Ⅱ-17 薬物についての認知度



薬物の認知について性別でみると、男性では、「LSD」、「アヘン」、「ヘロイン」の割合が、それぞれ 36.5%、68.9%、58.9%となっており、それぞれ女性よりも 13.5 ポイント、14.9 ポイント、20.1 ポイントずつ高くなっている。

また、年齢別でみると、16 歳、17 歳で「LSD」の割合はそれぞれ 25.7%、27.5%となっているが、18 歳、19 歳ではそれぞれ 33.3%、31.7%となっており、18 歳を境に差がみられる。

表Ⅱ－18 薬物についての認知度（性別、年齢別）

		調査数	薬物についての認知度											
			シンナー	覚せい剤	大麻	LSD	アヘン	ヘロイン	コカイン	向精神薬（睡眠薬）	危険ドラッグ	その他	知っているものはない	無回答
全体		920	784	902	890	270	558	441	816	355	774	37	5	2
		100.0	85.2	98.0	96.7	29.3	60.7	47.9	88.7	38.6	84.1	4.0	0.5	0.2
性別	男性	411	347	399	396	150	283	242	370	158	339	19	3	1
		100.0	84.4	97.1	96.4	36.5	68.9	58.9	90.0	38.4	82.5	4.6	0.7	0.2
	女性	500	430	495	486	115	270	194	439	192	428	17	2	-
	100.0	86.0	99.0	97.2	23.0	54.0	38.8	87.8	38.4	85.6	3.4	0.4	-	
	無回答	9	7	8	8	5	5	5	7	5	7	1	-	1
	100.0	77.8	88.9	88.9	55.6	55.6	55.6	77.8	55.6	77.8	11.1	-	-	11.1
年齢別	16歳	237	195	233	230	61	140	107	217	92	191	12	1	-
		100.0	82.3	98.3	97.0	25.7	59.1	45.1	91.6	38.8	80.6	5.1	0.4	-
	17歳	258	236	255	250	71	164	124	233	104	227	11	-	1
		100.0	91.5	98.8	96.9	27.5	63.6	48.1	90.3	40.3	88.0	4.3	-	0.4
	18歳	219	180	213	211	73	137	112	192	80	180	11	2	-
		100.0	82.2	97.3	96.3	33.3	62.6	51.1	87.7	36.5	82.2	5.0	0.9	-
19歳	205	173	201	199	65	117	98	174	79	176	3	2	-	
	100.0	84.4	98.0	97.1	31.7	57.1	47.8	84.9	38.5	85.9	1.5	1.0	-	
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

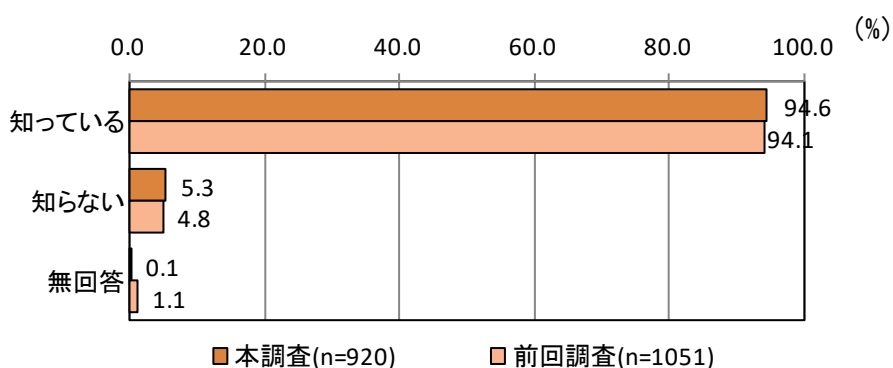
(2) 薬物を使用した場合の心身への影響の周知度

(ア) 異常に興奮したり、やる気がなくなったりする【急性中毒】

薬物を使用した場合の心身への影響（異常に興奮したり、やる気がなくなったりする）について聞いたところ、「知っている」が94.6%、「知らない」が5.3%となっている。

前回調査と比べると、大きな差はみられないが、「知っている」の割合が0.5ポイント微増している。

図Ⅱ-19 薬物を使用した場合の心身への影響の周知度【急性中毒】



性別でみると、周知度は女性の方が高くなっている。

表Ⅱ-20 薬物を使用した場合の心身への影響の周知度【急性中毒】(性別)

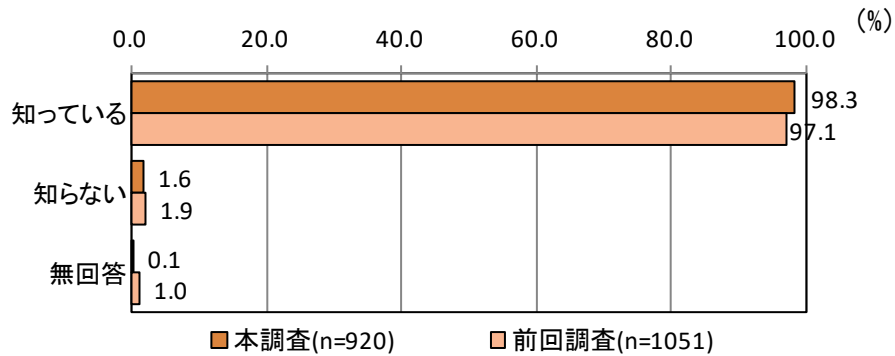
		調査数	上段:実数、下段:%		
			【急性中毒】		
			知っている	知らない	無回答
全体		920	870	49	1
		100.0	94.6	5.3	0.1
性別	男性	411	381	30	-
		100.0	92.7	7.3	-
	女性	500	482	18	-
		100.0	96.4	3.6	-
無回答		9	7	1	1
		100.0	77.8	11.1	11.1

(イ) 自分の意志で止めるのが難しくなる【依存症】

薬物を使用した場合の心身への影響（自分の意志で止めるのが難しくなる）について聞いたところ、「知っている」が98.3%、「知らない」が1.6%となっている。

前回調査と比べると、大きな差はみられないが、「知っている」の割合が1.2ポイント増加している。

図Ⅱ-21 薬物を使用した場合の心身への影響の周知度【依存症】



性別でみると、周知度は女性の方がやや高くなっている。

表Ⅱ-22 薬物を使用した場合の心身への影響の周知度【依存症】（性別）

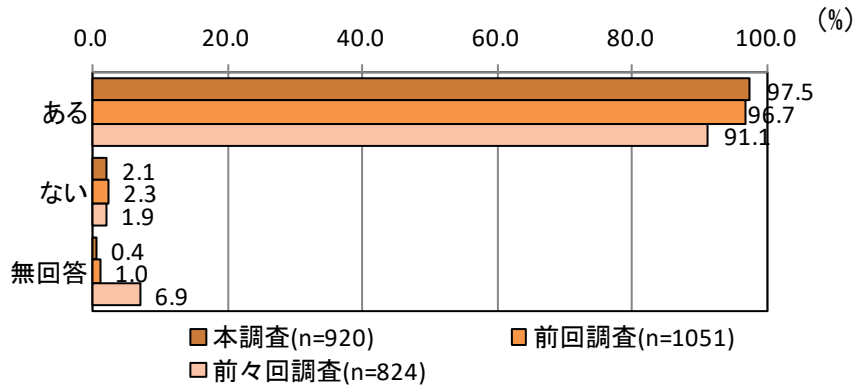
		調査数	【依存症】		
			知っている	知らない	無回答
全体		920 100.0	904 98.3	15 1.6	1 0.1
性別	男性	411 100.0	402 97.8	9 2.2	-
	女性	500 100.0	495 99.0	5 1.0	-
	無回答	9 100.0	7 77.8	1 11.1	1 11.1

(3) 薬物乱用に関する学校での学習状況

薬物乱用について学校の授業等で学んだことがあるかを聞いたところ、「ある」が97.5%、「ない」が2.1%となっている。

前回調査と比べると、大きな差はみられないが、前々回調査と比べると6.4ポイント増加し、薬物乱用について学校で学ぶことが増えてきている。

図Ⅱ-23 薬物乱用に関する学校での学習状況



性別でみると、男女で差はほとんどみられない。

表Ⅱ-24 薬物乱用に関する学校での学習状況（性別）

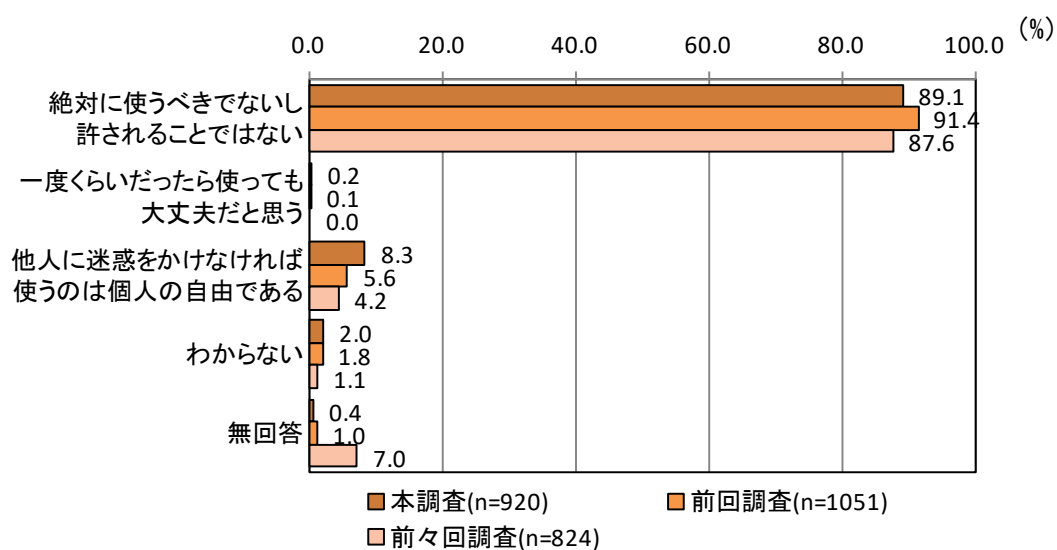
		調査数	薬物乱用の学習状況		
			上段: 実数、下段: %		
			ある	ない	無回答
全体		920	897	19	4
		100.0	97.5	2.1	0.4
性別	男性	411	400	10	1
		100.0	97.3	2.4	0.2
	女性	500	490	8	2
	100.0	98.0	1.6	0.4	
	無回答	9	7	1	1
		100.0	77.8	11.1	11.1

(4) 薬物乱用の是非

薬物を乱用することについてどのように考えているかを聞いたところ、「絶対に使うべきでないし許されることではない」が89.1%と最も高くなっている。「他人に迷惑をかけなければ、使うのは個人の自由である」(8.3%)、「一度くらいだったら使っても大丈夫だと思う」(0.2%)と肯定的な見方は8.5%などとなっている。

前回調査と比べると、「絶対に使うべきでないし許されることではない」の割合は2.3ポイント低くなっているが、前々回調査と比べると1.5ポイント高くなっている。「他人に迷惑をかけなければ、使うのは個人の自由である」、「一度くらいだったら使っても大丈夫だと思う」という肯定的な見方は、少数ではあるが増加傾向にある。

図Ⅱ-25 薬物乱用の是非



性別でみると、「絶対に使うべきでないし許されることではない」の割合は男性が 87.3%なのに対し、女性は 91.0%で、女性の方が高くなっている。

表Ⅱ-26 薬物乱用の是非（性別）

上段:実数、下段:%

		調査数	薬物乱用の是非				無回答
			いし絶 許対 さに れ使 るう こべ とき でで はな ない	う使一 つ度 てく もら 大い 丈だ 夫た たら と思	由れ他 でば人 であ使 あるに るう迷 の惑 はを 個か 人け のな 自け	わ か ら な い	
全体		920 100.0	820 89.1	2 0.2	76 8.3	18 2.0	4 0.4
性別	男性	411 100.0	359 87.3	1 0.2	42 10.2	8 1.9	1 0.2
	女性	500 100.0	455 91.0	1 0.2	33 6.6	10 2.0	1 0.2
	無回答	9 100.0	6 66.7	-	1 11.1	-	2 22.2

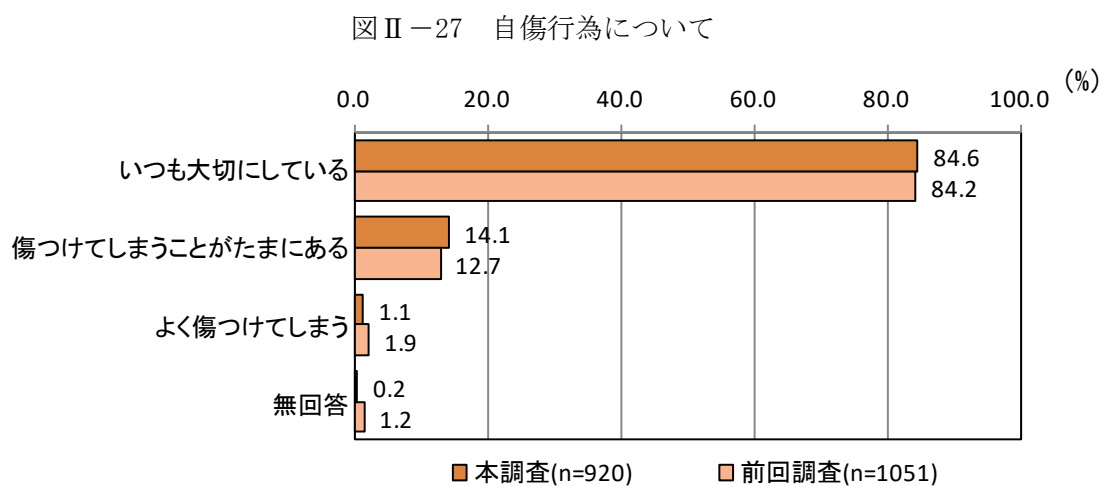
6 性について

(1) 自傷行為について

自分の体を大切にしているかを聞いたところ、「いつも大切にしている」が84.6%と最も高く、「傷つけてしまうことがたまにある」が14.1%となっている。

「傷つけてしまうことがたまにある」と「よく傷つけてしまう」を合わせた《自傷行為をする》人の割合は15.2%となっている。

前回調査と比べると、「いつも大切にしている」の割合の差はほとんどみられず、「傷つけてしまうことがたまにある」が1.4ポイント増加している。



自傷行為について年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがって「いつも大切にしている」の割合が高くなっているのに対し、「傷つけてしまうことがたまにある」の割合は低くなっている。

表Ⅱ-28 自傷行為について（性別、年齢別）

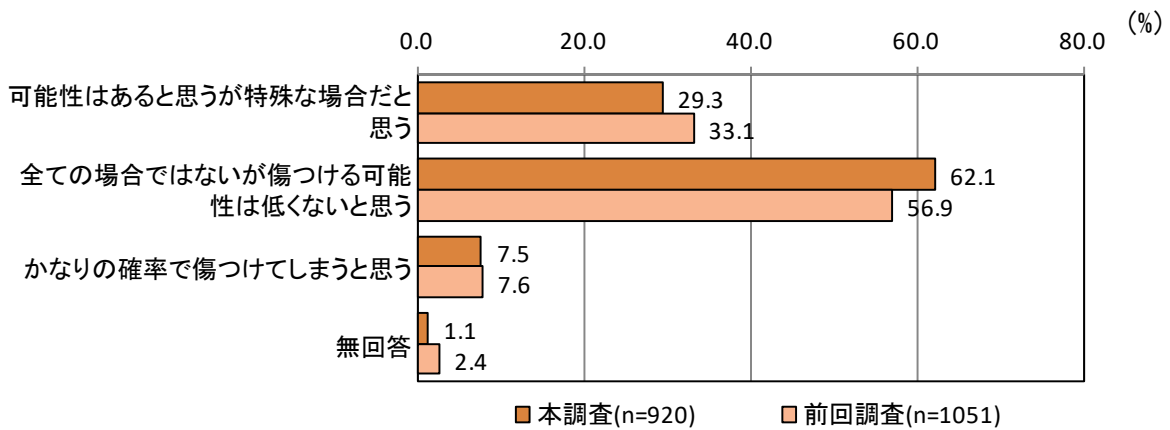
		調査数	上段:実数、下段:%			
			自傷行為について			
			しいていつも大切に	にう傷あこつあるとけがたしま	しよまくう傷つけて	無回答
全体		920 100.0	778 84.6	130 14.1	10 1.1	2 0.2
性別	男性	411 100.0	342 83.2	63 15.3	6 1.5	- -
	女性	500 100.0	433 86.6	63 12.6	3 0.6	1 0.2
	無回答	9 100.0	3 33.3	4 44.4	1 11.1	1 11.1
年齢別	16歳	237 100.0	195 82.3	38 16.0	4 1.7	- -
	17歳	258 100.0	217 84.1	37 14.3	3 1.2	1 0.4
	18歳	219 100.0	185 84.5	32 14.6	2 0.9	- -
	19歳	205 100.0	181 88.3	23 11.2	1 0.5	- -
	無回答	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0

(2) 性行動が相手の心身を傷つける可能性について

性行動が相手の心身を傷つける可能性について聞いたところ、「全ての場合ではないが傷つける可能性は低くないと思う」が62.1%と最も高く、「可能性はあると思うが特殊な場合だと思う」が29.3%などとなっている。

前回調査と比べると、「全ての場合ではないが傷つける可能性は低くないと思う」と回答した人の割合は、5.2ポイント増加している。

図Ⅱ-29 性行動が相手の心身を傷つける可能性について



性行動が相手の心身を傷つける可能性について性別でみると、「可能性はあると思うが特殊な場合だと思う」の割合は、男性が30.9%、女性が27.6%と男性が3.3ポイント高く、「全ての場合ではないが傷つける可能性は低くないと思う」の割合は男性が58.2%、女性が65.8%で、女性の方が7.6ポイント高くなっており、女性の方がやや不安感が強くなっている。

性行動が相手の心身を傷つける可能性について年齢別でみると、18歳では他の年齢よりも「可能性はあると思うが特殊な場合だと思う」の割合が低く、26.9%となっているものの、年齢に大きな差はみられない。

表Ⅱ-30 性行動が相手の心身を傷つける可能性について（性別、年齢別）

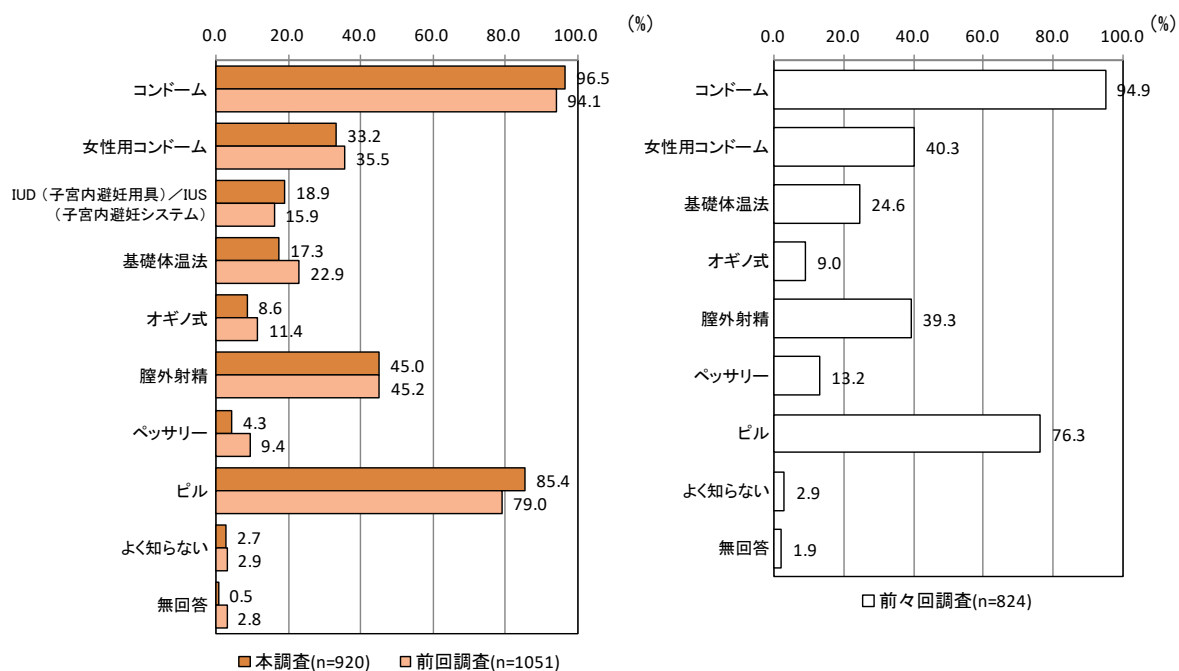
		調査数	性行動が相手の心身を傷つける可能性について			
			特殊な場合だと思う	可能性はあると思う	全ての場合ではないが傷つける可能性は低くないと思う	かなり高い確率で傷つける
全体		920 100.0	270 29.3	571 62.1	69 7.5	10 1.1
性別	男性	411 100.0	127 30.9	239 58.2	40 9.7	5 1.2
	女性	500 100.0	138 27.6	329 65.8	29 5.8	4 0.8
	無回答	9 100.0	5 55.6	3 33.3	-	1 11.1
年齢別	16歳	237 100.0	71 30.0	147 62.0	16 6.8	3 1.3
	17歳	258 100.0	76 29.5	162 62.8	18 7.0	2 0.8
	18歳	219 100.0	59 26.9	139 63.5	18 8.2	3 1.4
	19歳	205 100.0	64 31.2	123 60.0	17 8.3	1 0.5
	無回答	1 100.0	-	-	-	1 100.0

(3) 避妊法に関する知識

避妊法について知っているものを聞いたところ、「コンドーム」が96.5%と最も高く、次いで「ピル」が85.4%、「膣外射精」が45.0%となっている。

前回調査と比べると、「コンドーム」は2.4ポイント高くなっている。「女性用コンドーム」は2.3ポイント低くなっており、前々回調査と比べると、7.1ポイント低くなっている。「ピル」は前回調査と比べると、6.4ポイント高くなっており、前々回調査と比べると9.1ポイント高くなっている。

図Ⅱ-31 避妊法に関する知識



避妊法に関する知識を性別で見ると、男性では、「膣外射精」の割合が女性（39.2%）よりも高く、52.8%となっている。女性では、「基礎体温法」、「ピル」の割合が男性（それぞれ12.9%、79.8%）よりも高く、それぞれ21.0%、90.4%となっている。

年齢別で、差はほとんどないが、「コンドーム」、「女性用コンドーム」、「ピル」では、年齢が高くなるにつれて、高くなっている。

表Ⅱ-32 避妊法に関する知識（性別、年齢別）

上段:実数、下段:%

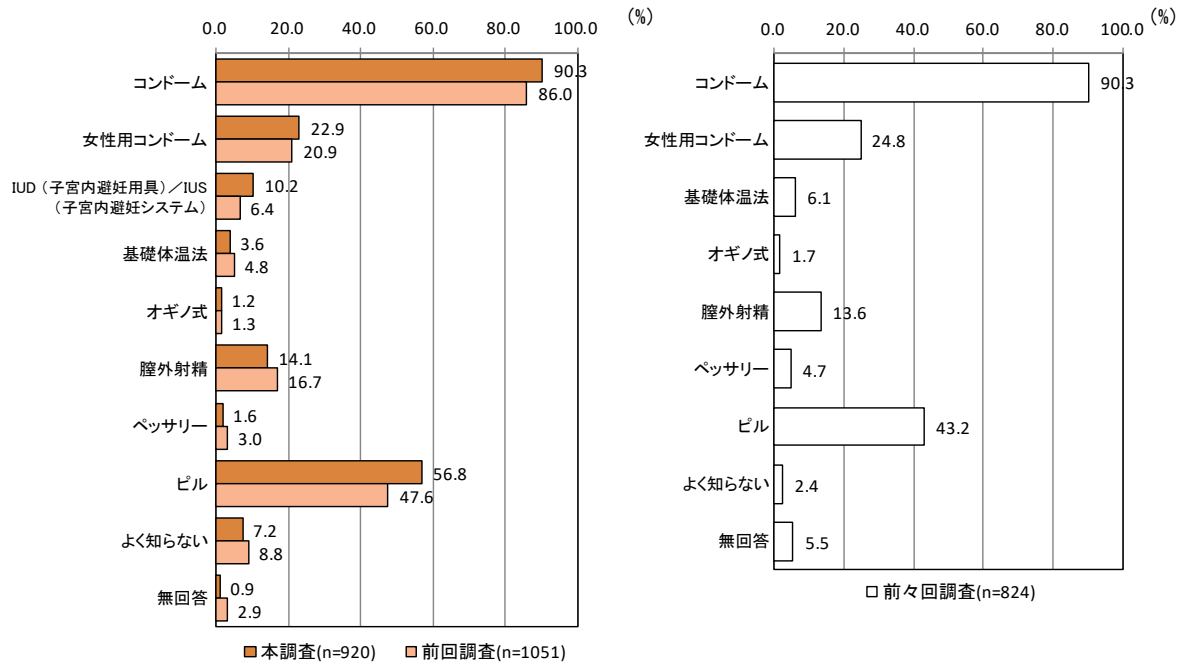
	調査数	避妊法に対する意識										
		コンドーム	女性用コンドーム	宮内避妊システム（子宮内避妊）	IUD（子宮内避妊）	基礎体温法	オギノ式	膣外射精	ペッサリー	ピル	よく知らない	無回答
全体	920	888	305	174	159	79	414	40	786	25	5	
	100.0	96.5	33.2	18.9	17.3	8.6	45.0	4.3	85.4	2.7	0.5	
性別	男性	411	399	146	73	53	39	217	23	328	8	3
		100.0	97.1	35.5	17.8	12.9	9.5	52.8	5.6	79.8	1.9	0.7
	女性	500	482	157	99	105	40	196	17	452	16	1
	100.0	96.4	31.4	19.8	21.0	8.0	39.2	3.4	90.4	3.2	0.2	
	無回答	9	7	2	2	1	-	1	6	1	1	
	100.0	77.8	22.2	22.2	11.1	-	-	11.1	66.7	11.1	11.1	
年齢別	16歳	237	215	64	31	34	16	95	8	182	16	4
		100.0	90.7	27.0	13.1	14.3	6.8	40.1	3.4	76.8	6.8	1.7
	17歳	258	254	86	56	54	21	122	13	226	4	-
		100.0	98.4	33.3	21.7	20.9	8.1	47.3	5.0	87.6	1.6	-
	18歳	219	216	75	45	41	30	106	8	194	3	-
	100.0	98.6	34.2	20.5	18.7	13.7	48.4	3.7	88.6	1.4	-	
19歳	205	203	80	42	30	12	91	11	184	2	-	
	100.0	99.0	39.0	20.5	14.6	5.9	44.4	5.4	89.8	1.0	-	
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	

(4) 適切な避妊法の認識

適切と判断する避妊法について聞いたところ、「コンドーム」が90.3%と最も高く、次いで「ピル」が56.8%、「女性用コンドーム」が22.9%などとなっている。

前回調査と比べると、「ピル」が9.2ポイント高くなっており、前々回調査と比べると13.6ポイント高くなっている。

図Ⅱ-33 適切な避妊法の認識



適切な避妊法の認識について性別で見ると、男性では「膣外射精」が18.2%となっており、女性よりも7.4ポイント高くなっている。女性では「ピル」の割合が男性よりも8.4ポイント高く、61.0%となっている。

表Ⅱ-34 適切な避妊法の認識（性別、年齢別）

上段：実数、下段：%

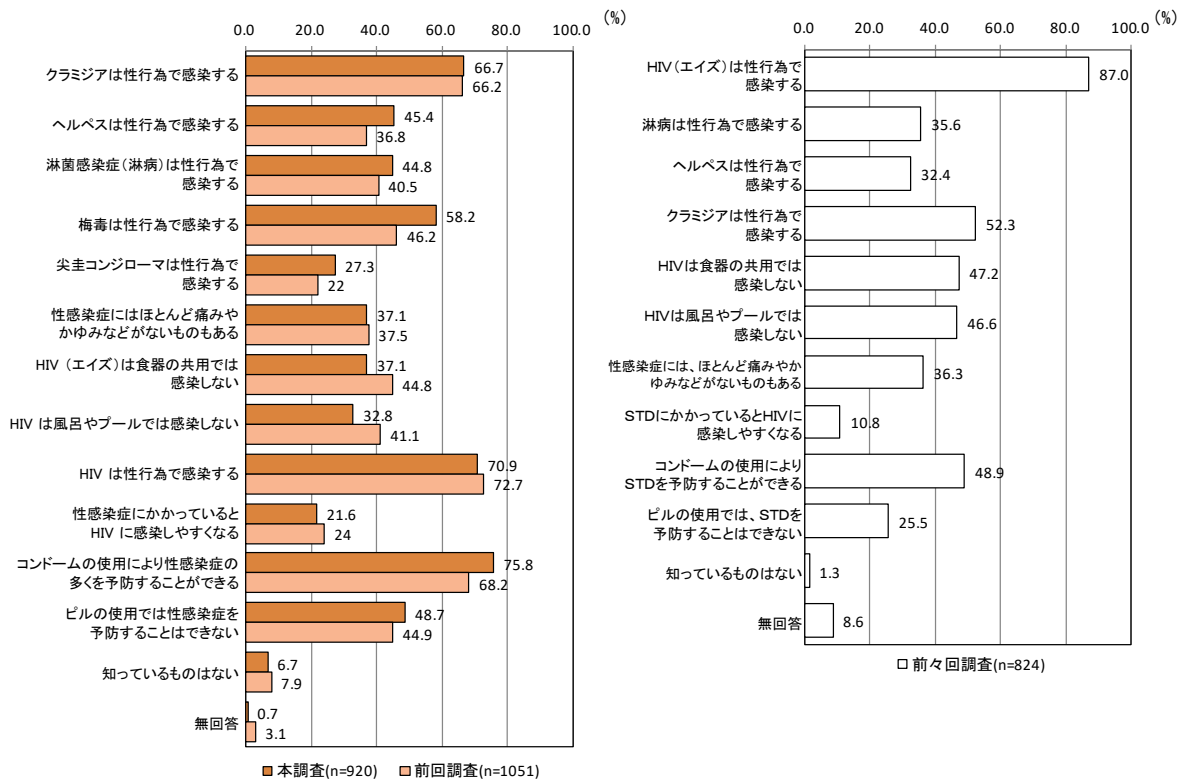
	調査数	適切な避妊方法についての認識										
		コンドーム	女性用コンドーム	宮内避妊システム（子宮内避妊器具）	IUD（子宮内避妊器具）	基礎体温法	オギノ式	膣外射精	ペッサリー	ピル	よく知らない	無回答
全体	920	831	211	94	33	11	130	15	523	66	8	
	100.0	90.3	22.9	10.2	3.6	1.2	14.1	1.6	56.8	7.2	0.9	
性別	男性	411	384	104	42	13	8	75	9	216	19	5
		100.0	93.4	25.3	10.2	3.2	1.9	18.2	2.2	52.6	4.6	1.2
	女性	500	441	106	52	20	2	54	6	305	46	2
	100.0	88.2	21.2	10.4	4.0	0.4	10.8	1.2	61.0	9.2	0.4	
無回答	9	6	1	-	-	1	1	-	2	1	1	
	100.0	66.7	11.1	-	-	11.1	11.1	-	22.2	11.1	11.1	
年齢別	16歳	237	204	39	13	6	2	30	2	123	24	4
		100.0	86.1	16.5	5.5	2.5	0.8	12.7	0.8	51.9	10.1	1.7
	17歳	258	239	59	31	13	6	45	7	152	14	-
		100.0	92.6	22.9	12.0	5.0	2.3	17.4	2.7	58.9	5.4	-
	18歳	219	197	53	28	5	1	34	2	127	16	2
	100.0	90.0	24.2	12.8	2.3	0.5	15.5	0.9	58.0	7.3	0.9	
19歳	205	191	60	22	9	2	21	4	121	12	1	
	100.0	93.2	29.3	10.7	4.4	1.0	10.2	2.0	59.0	5.9	0.5	
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	

(5) 性感染症に関する認識

性感染症（STD）について知っているものを聞いたところ、「コンドームの使用により性感染症の多くを予防することができる」が75.8%と最も高く、次いで「HIVは性行為で感染する」が70.9%、「クラミジアは性行為で感染する」が66.7%などとなっている。

また、12項目全てを知っている人は45人（4.9%）で、一人当たりの平均回答数は4.4件となっている。

図Ⅱ-35 性感染症に関する認識



性感染症に関する認識について性別でみると、男性では「淋菌感染症（淋病）は性行為で感染する」、「梅毒は性行為で感染する」がそれぞれ 54.0%、66.4%となっており、女性よりもそれぞれ 17.0 ポイント、15.6 ポイント高くなっている。女性では「ピルの使用では性感染症を予防することはできない」の割合が男性よりも 2.8 ポイント高く、50.0%となっている。

表Ⅱ-36 性感染症に関する認識（性別、年齢別）

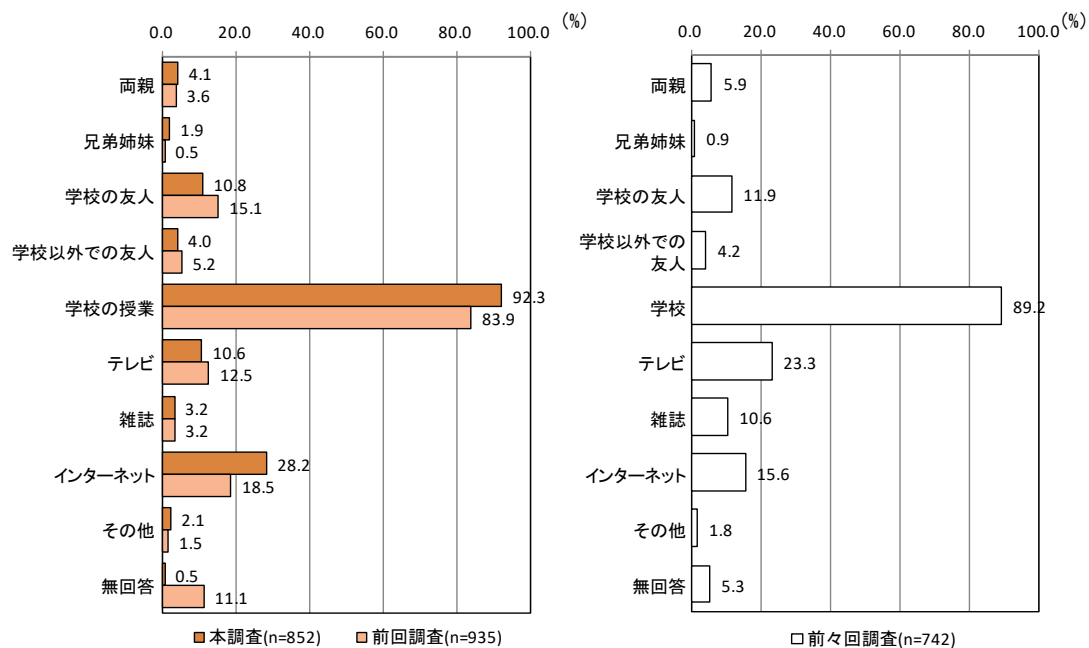
	調査数	性感染症に関する認識														上段:実数、下段:%		
		クラミジアは性行為で感染する	ヘルペスは性行為で感染する	淋菌感染症（淋病）は性行為で感染する	梅毒は性行為で感染する	尖圭コンジローマは性行為で感染する	いもやかゆみなどがあるもの	性感染症にはほとんどない	食器の共用（エイズ）は	HIVでは感染しない	HIVでは風呂やプールで感染する	HIVは性行為で感染する	やすくなる	性感染症にかかっている	防衛することができ	コンドームの使用によ	きない	ピルの使用では性感染
全体	920 100.0	614 66.7	418 45.4	412 44.8	535 58.2	251 27.3	341 37.1	341 37.1	302 32.8	652 70.9	199 21.6	697 75.8	448 48.7	62 6.7	6 0.7			
性別	男性	411 100.0	291 70.8	198 48.2	222 54.0	273 66.4	139 33.8	148 36.0	165 40.1	151 36.7	301 73.2	90 21.9	309 75.2	194 47.2	25 6.1	3 0.7		
	女性	500 100.0	316 63.2	215 43.0	185 37.0	254 50.8	107 21.4	187 37.4	172 34.4	147 29.4	344 68.8	106 21.2	381 76.2	250 50.0	37 7.4	2 0.4		
	無回答	9 100.0	7 77.8	5 55.6	5 55.6	8 88.9	5 55.6	6 66.7	4 44.4	4 44.4	7 77.8	3 33.3	7 77.8	4 44.4	-	1 11.1		
年齢別	16歳	237 100.0	135 57.0	96 40.5	103 43.5	130 54.9	67 28.3	89 37.6	87 36.7	79 33.3	155 65.4	56 23.6	167 70.5	96 40.5	27 11.4	5 2.1		
	17歳	258 100.0	177 68.6	121 46.9	114 44.2	144 55.8	73 28.3	98 38.0	95 36.8	85 32.9	190 73.6	58 22.5	198 76.7	135 52.3	13 5.0	-		
	18歳	219 100.0	149 68.0	97 44.3	103 47.0	131 59.8	56 25.6	81 37.0	81 37.0	70 32.0	156 71.2	37 16.9	169 77.2	116 53.0	12 5.5	-		
	19歳	205 100.0	153 74.6	104 50.7	92 44.9	130 63.4	55 26.8	73 35.6	78 38.0	68 33.2	151 73.7	48 23.4	163 79.5	101 49.3	10 4.9	-		
	無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0		

(6) 性感染症に関する情報源

性感染症について何らかの知識がある 852 人にどこから知識を得たかを聞いたところ、「学校の授業」が 92.3%と最も高く、次いで「インターネット」が 28.2%、「学校の友人」が 10.8%、「テレビ」が 10.6%などとなっている。

前回調査と比べると、「インターネット」は 9.7 ポイント高くなっており、前々回調査と比べると 12.6 ポイント高くなっている。

図 II-37 性感染症に関する情報源



性別で見ると、「インターネット」の割合は、男性が33.7%、女性が24.1%、「学校の友人」の割合は、男性が16.7%、女性が6.1%で、それぞれ9.6ポイント、10.6ポイント男性の方が高くなっている。

表Ⅱ-38 性感染症に関する情報源（性別）

		調査数	性感染症に関する情報源									上段:実数、下段:%	
			両親	兄弟姉妹	学校の友人	学校以外での友人	学校の授業	テレビ	雑誌	インターネット	その他	無回答	
全体		852 100.0	35 4.1	16 1.9	92 10.8	34 4.0	786 92.3	90 10.6	27 3.2	240 28.2	18 2.1	4 0.5	
性別	男性	383 100.0	20 5.2	12 3.1	64 16.7	20 5.2	352 91.9	50 13.1	15 3.9	129 33.7	5 1.3	3 0.8	
	女性	461 100.0	14 3.0	4 0.9	28 6.1	14 3.0	427 92.6	40 8.7	12 2.6	111 24.1	11 2.4	1 0.2	
	無回答	8 100.0	1 12.5	-	-	-	7 87.5	-	-	-	2 25.0	-	